

手賀沼流域

協働調査結果(平成29年度)

手賀沼流域の各河川調査地点で、平成29年度に実施した春季・冬季のパックテストによるCOD濃度調査結果の平均値をまとめました。

【参加団体】

我孫子市消費者の会、我孫子の文化を守る会、我孫子野鳥を守る会、NPO法人アルトロスヨットクラブ、印西市環境推進市民会議、美しい手賀沼を愛する市民の連合会、江戸川大学、大津川をきれいにする会、大堀川の水辺をきれいにする会、岡発戸・都部の谷津を愛する会、柏市環境保全協議会(パウダーテック㈱)、鎌ヶ谷・大津川を清流にする会、亀成川を愛する会、神崎川を守るしろい八幡溜の会、白井環境ネットワークの会、白井の自然を考える会、ふれあい手賀沼の会
※五十音順
柏市、我孫子市、印西市、流山市、鎌ヶ谷市、白井市、千葉県(事務局:環境生活部水質保全課)

河川

【大堀川流域】
COD濃度の年平均値が8.8mg/Lを示した。他流域よりも市街地の割合が大きく、上流部の一部及び合流する樋管の地点で高い値を示した。No.24を除き、北千葉導水注入地点より下流の本流では6.0mg/L未満と低い値を示した。

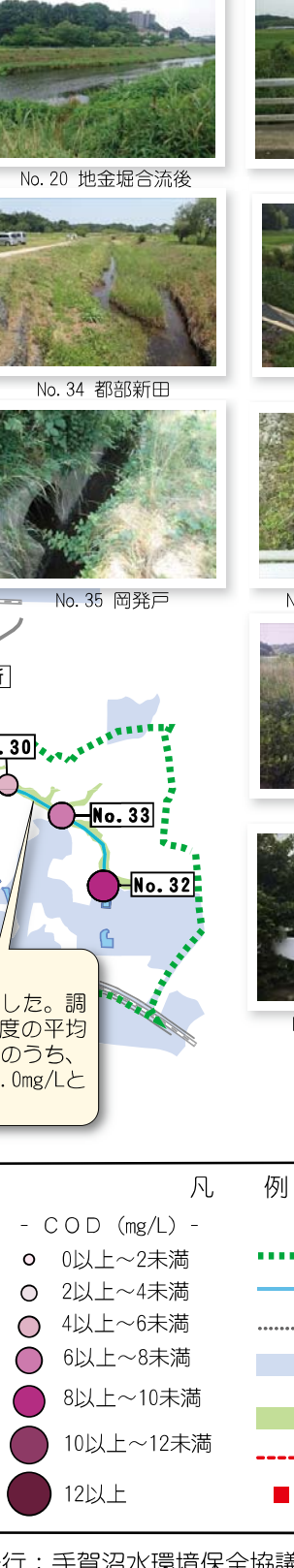
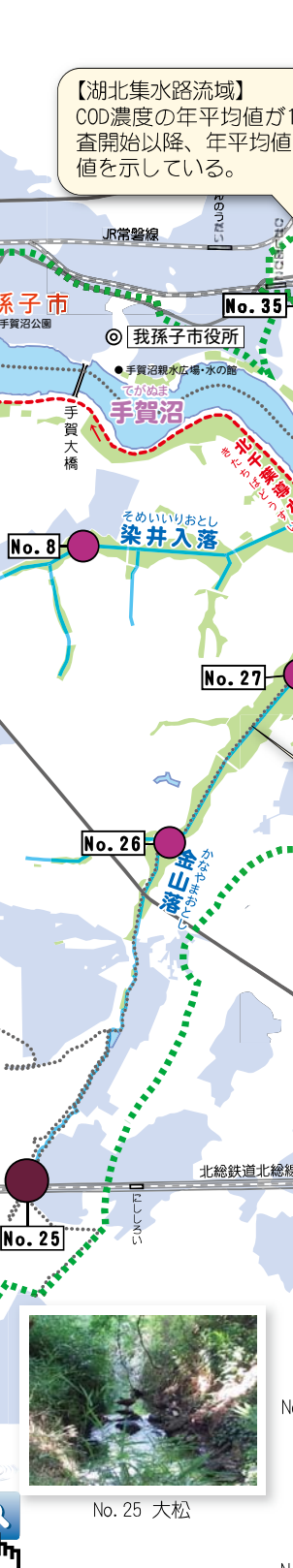
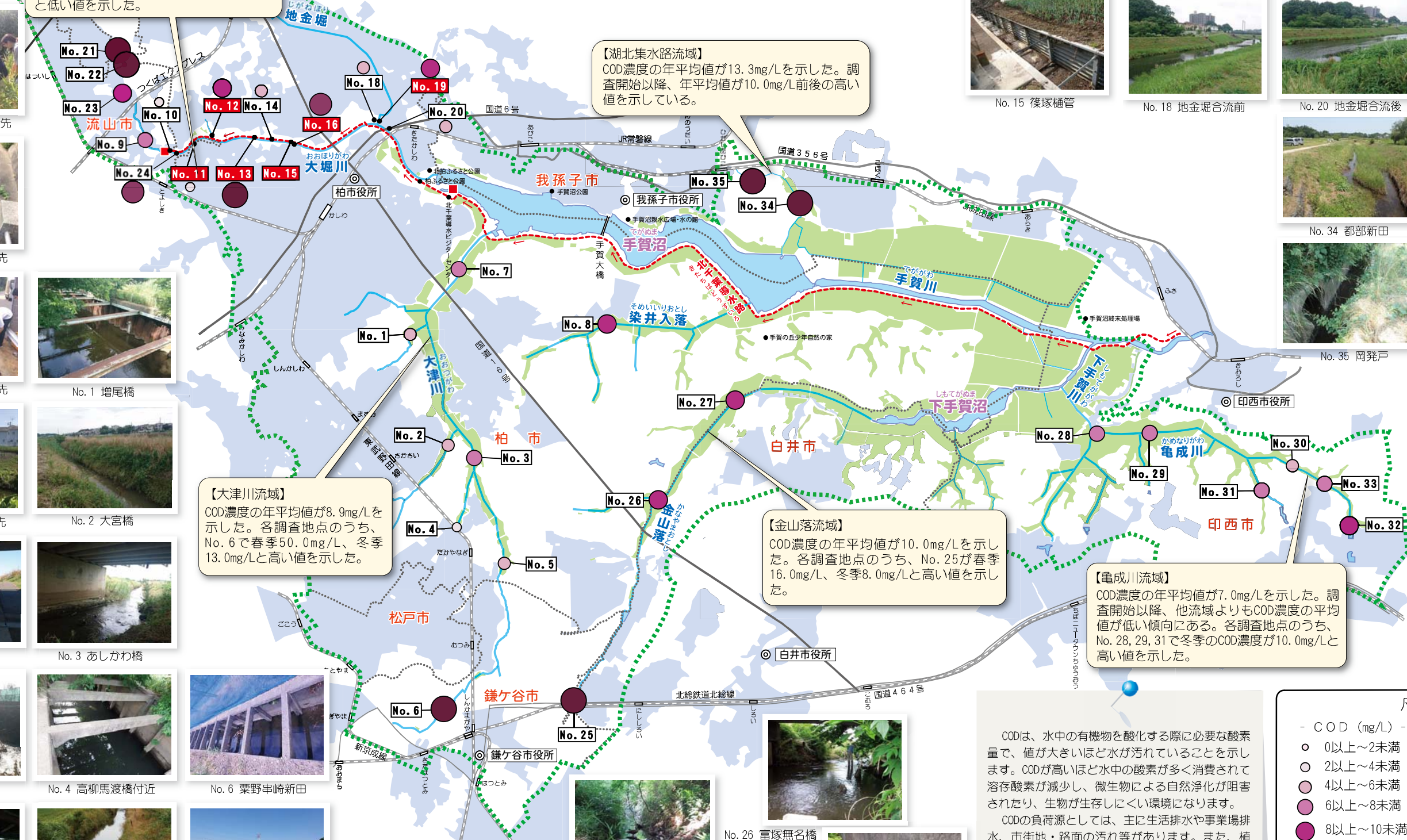
注:大堀川における調査地点No.の枠内が赤塗り白文字になっている地点については、大堀川に合流する直前の樋管等にて観測した値を示す。

【湖北集水路流域】
COD濃度の年平均値が13.3mg/Lを示した。調査開始以降、年平均値が10.0mg/L前後の高い値を示している。

【大津川流域】
COD濃度の年平均値が8.9mg/Lを示した。各調査地点のうち、No.6で春季50.0mg/L、冬季13.0mg/Lと高い値を示した。

【金山落流域】
COD濃度の年平均値が10.0mg/Lを示した。各調査地点のうち、No.25が春季16.0mg/L、冬季8.0mg/Lと高い値を示した。

【亀成川流域】
COD濃度の年平均値が7.0mg/Lを示した。調査開始以降、他流域よりもCOD濃度の平均値が低い傾向にある。各調査地点のうち、No.28,29,31で冬季のCOD濃度が10.0mg/Lと高い値を示した。



CODは、水中の有機物を酸化する際に必要な酸素量で、値が大きいほど水が汚れていることを示します。CODが高いほど水中の酸素が多く消費されて溶存酸素が減少し、微生物による自然浄化が阻害されたり、生物が生存しにくい環境になります。CODの負荷源としては、主に生活排水や事業場排水、市街地・路面の汚れ等があります。また、植物プランクトンの増殖によってもCOD値は上昇します。なお、手賀沼の平成29年度のCOD年平均値は8.6mg/L、75%値が9.7mg/Lで、依然として環境基準値:5mg/L(75%値)を上回っています。

凡例	
- COD (mg/L) -	●●●● 手賀沼流域界
○ 0以上~2未満	— 手賀沼流域水系
○ 2以上~4未満 市町村界
○ 4以上~6未満	■ 下水道整備地域 (~H26.3)
○ 6以上~8未満	■ 水田
○ 8以上~10未満	--- 北千葉導水路
○ 10以上~12未満	■ 北千葉導水注入地点
○ 12以上	

もっと知りたい人は...
手賀沼水環境保全協議会
<http://www.tesuikyoo.jp/>